取材日：　平成 29 年　2 月　15 日

# 長久手人 File No. 7

| 長久手人の氏名 |
| --- |
| イチノ　アケミ<br>市野　聖美 |

| 活動内容 | 親の介護をしながら、自宅でおしゃべりサロン |
| --- | --- |

## Q1 活動内容と始めたきっかけは？

長久手に住む母が介護が必要になり、生活している東京から通っていましたが、現在は市内に住んでいます。
私がなかなか外に出ることができないから、高校時代の友人と、自宅でみんなで絵やヨガを楽しむサロンをしています。

## Q2 「この」活動の「ここ」がおもしろい！やりがいがある！と思う事は？

仲の良い友達が家に来て、元気をいただくことがいっぱいあります。介護疲れも吹っ飛びます。

## Q3 ずばり！あなたが考える「幸せ」とは？

一番は健康、次は自分が楽しむ時間を持てること。私は自分が楽しいと思うことをやっていて、そこにみんなを巻きこんでいるという感じです。

## Q4 フリーメッセージ

（例）将来の目標、参加の呼びかけ

人が一生を終えるまでには色々あり、誰かにお世話にならないとできないこともたくさんあるから、“お互い様”の精神でいるといいと思います。
お世話になった人に直接お返しはできないかもしれないけど、お互い様と思えばみんなが仲良くできるんじゃないかなと感じます。
前熊地区では伝統的なお祭りやそれにまつわる住民の役割がある。煩わしいこともあるけどいいことだと思うから、新しい人もぜひ引き継いでいってほしいです。

インタビューの様子

顔彩で描かれたおひな様

## 取材者（　かずちゃん・てらし　）のコメント

親の介護で息がつまってしまっている方にぜひ知っていただきたいです。一人きりで背負わず、“お互い様”の精神で誰かに頼ったり頼られたりすることがあらゆる人の当たり前になったらいいなと思いました。また、趣味や特技があると交流に活かせるので、何か始めてみるのもよいかもしれませんね！